## 第6回 地区別懇談会【②中心市街地】

日時: 令和3年9月16日(木) 18:30~

場所:人吉東小学校体育館

### 次第

- 1. 開会挨拶
- 2. 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
  - (1) 地区別懇談会の振り返りと情報提供【資料1】【資料2】【資料3】
  - (2) 懇談会意見を踏まえた復興まちづくり計画(たたき台)【資料4】
  - (3)被災市街地復興推進地域(中心市街地地区) 土地利用及び道路整備方針(たたき台)【資料5】
- 3. 地区ごとの話し合い
  - (1) 復興まちづくり計画(たたき台)について

○復興まちづくり計画(たたき台) 【方針・取り組み】について問題はないでしょうか?

○復興まちづくり計画(たたき台)【整備イメージ】について問題はないでしょうか?

○あなたの「人吉をどんなまちにしたいですか?」お聞かせください。

(2)被災市街地復興推進地域(中心市街地地区)

土地利用及び道路整備方針(たたき台)について

○土地利用方針のゾーンの基本的な考え方についてご意見はありますか?

○道路整備の基本的な考え方についてご意見はありますか?

- 4. 全体共有
- 5. その他
- 6. 閉会挨拶

#### 【資料】

・資料1:地区別懇談会だより第3号

・資料2:地区別懇談会中間報告会まとめ

・資料3:人吉市復興まちづくり 進め方と本日の内容について

・資料4:復興まちづくり計画(たたき台)

・資料5:被災市街地復興推進地域(中心市街地地区)土地利用及び道路整備方針(たたき台)

## 【中心市街地】『復興まちづくりの方向(案)』~第4.5回懇談会の意見概要②~

口は方向案の柱です。黄色網掛け箇所が第4・5回地区別懇談会における参加者の主な意見です。(※決まった内 容や事実確認をした内容、地権者様の了解を得た内容ではありません)

		1日開催)での検討内容についても、主な意見ではありますが、併せて整理しています。		
取組みの柱 (1被災者の (住まい再建)		具体の取組み(案)		
①被災者の くらし再		□安全性を高める建て方の誘導(例) ・今後の住まいが決まっていない方や再建を迷う方への再建方策の提案。		
建とコミ	【コミュニティ再生】	・再建後に公共事業(例:区画整理など)の対象場所になった場合の対策の提示。		
ユニティ		一町内会の集会所等の再建		
の再生		□町内会の連絡網の再整理		
<b>②力強、地</b>	【生業再建】	□個々の事業所の再建支援		
域経済の		・すでに店をオープンしている方達を盛り上げるような支援が必要。		
再生		・市民みんなで旅館等を応援する。「旅館は地産地消」で。		
		・観光業従事者向けの寮を兼ねた集合住宅を検討。		
		□継続がな賑わい創出の取組		
		・チャレンジショップのように、人吉に帰ってきた時に足がかりになる場所があると良い。		
		「人吉にもう一度」と思える場所が必要。		
		・ 若い人が商売できるような場所があり、3年間は家賃を低廉化して支援してもらえるしく		
		<del>みの検討が必要ではないか。</del>		
		・オーナーにとっては、テナント貸しして収入があれば良い。		
③災害に負	<b>遊機的策</b> 】	□地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成		
けないま		□地区内の主要道路・避難路の整備		
ちづくり		□防災情報の伝達機能の強化		
		□自助共助の避難体制の構築		
		□来街者・観光客の避難誘導対策 □実践的な避難訓練の実施		
		□実践可な歴報訓練の実施 □垂直避難ができる避難場所の確保		
		□車での避難場所(駐車スペース)の確保		
		□避難所機能の充実		
		□防災・避難支援スペースの確保		
	復興まちづくり】	□中心市街地のグランドデザインの作成		
		・まちのコンセプト (例) 「人よし 川よし 人情よし、ひとよし 酒よし 温泉よし		
		『あすこは人のよかでなアと、言われる町』」		
		・まちのコンセプト (例)「桜の杜 リゾートシティ人吉/1000 本の桜を植樹」。「テーマ:		
		自然との調和・共生」。「キーワード:癒し/安らぎ/贅沢な非日常空間/健康/文化/歴史」		
		・模型や立体的なCGなど、住民がイメージしやすい表現が必要。		
		・人吉駅からのまち歩きを検討。 □ <b>公営住宅の整備</b>		
		・地権者が土地を提供するかわりに災害公営住宅へ入居できるようにしたり、住宅の共同化		
		を検討。		
		□複合的な交流施設の整備		
		・城下町のイメージを優先するなら、その雰囲気に合った図書館をつくる。		
		・ 今までの図書館では人が集まらない。 武雄図書館のようにスタバ+図書館など、写真映え		
		<mark>するスポットを検討。</mark>		
		・図書館、会議室、物販、飲食など複合的な施設を検討。		
		□温泉の活用方策		
		・温泉施設(センター)を第3セクターでつくる。		
		・あえて温泉センターがないことが人吉の良いところである。		
		・新温泉は地元住民、観光客ともに利用が多かった。建物も趣がある。 ・偉人館、食事処、カフェ、温泉カフェ(京都の例)などを検討。		
		・銭湯再生が事業として成り立つかどうかの検討が必要。		
		・計画とともに誰が管理するのかという方針も同時に検討が必要。		
		□歴史的建物や路地空間等を活かした街並み形成		
		・城下町として外観を統一する方策を検討(白、ベージュ、アースカラー等)。		
		□球磨  を活かしたまちづくり		
		・場方を利用したトラック市の開催等を検討。		
		□区画整理等による面的なまちづくりの実施		
		・区画整里の範囲の早期明示を望む。		
		・地権者の意向調査を最優先で行う必要がある。		
		□ <b>空き地の活用</b>   ・出身著名人に依頼し「・・・の森」というふうにオーナー制として管理する仕組みを検		
		・正月香石人に批解して・・・の株」というかりにオーナー制として管理する仕組みを検   討。		
		・緑地化、芝生化を検討する。		
	(治水·土砂災害	□流或台水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下		
	対策	・まちづくりと治水は同時進行である。随時情報提供を希望する。		
	1			

資料 1

## 地区別懇談会だより

Vol.3

中心市街地

~みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり~

### 『地区別懇談会(第4回・第5回)』を開催しました

基大な被害や治水対策による影響が大きいなど、**地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を** 「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。

中心市街地の対象地区は、九日町、七日町、五日町、二日町、鍛冶屋町、大工町、紺屋町、上新町、下新 町、鶴田町、北泉田町、南泉田町です。

#### ◆第4回地区別懇談会

- 1 治水対策に関する国・県からの説明
- 2 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
  - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
  - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの 方向(更新案)について
- 3 地区ごとの話し合いと全体共有
  - ・復興まちづくりの具体的イメージ案について
- 4 今後の進め方について

開催日時:7月19日(月)18時半から 開催場所:人吉東小学校体育館

参加人数:54名

#### ◆第5回地区別懇談会

#### 1 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明

- ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
- ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの 方向(更新案)について
- 2 地区ごとの話し合いと全体共有
  - ・復興まちづくりの具体的な取組み方向・イメージ や手法案について
- 3 今後の進め方について

開催日時:7月26日(月)18時から 開催場所:人吉東小学校体育館

参加人数:37名

## 復興まちづくり計画の策定に向けて

地区別懇談会での検討をもとに、10 月頃を目途に具体的な復興まちづくりの取組をまとめた「復興まちづくり計 画」を策定します。

#### ◆地区別懇談会の参加方法

- ・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。 ※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただきます。
- ・参加申込は随時受け付けておりますので、復興支援課までお問合せください。 多くの方のご参加をお待ちしております。
- ◆地区別懇談会の進め方
- ・9~10月の間に、概ね月1回(1~2回程度)の開催を予定しています。

次回の開催予定:第6回 9月16日(木)18時30分より

次回のテーマ予定:**復興まちづくり計画 (素案)**等について

会場:人吉東小学校体育館

(注)地区別懇談会については、新型コロナウィルス感染症の状況等で、変更する場合があります。

#### ◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を示すものです。
- ・特に被害の大きい特定地域(重点地区)などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・住民主役の計画づくりに対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- ・計画期間は、令和4~9年度の概ね6年間。(令和3年度からの一部実施も想定)
- ・本計画に基づき、関係者調整含めた精査や具体化検討を進め、段階的な実現をめざします。

#### ◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課

〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1 Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869 E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームペ ージにも掲載しています。ホームペー ジをご覧になれない人はお問い合わ せください。







## 【中心市街地】これまでの地区別懇談会意見を踏まえた『復興まちづくりのイメージ(案)』~第4・5回懇談会の意見概要①~

まちの玄関口としての景観形成

AND PROPERTY OF

道路、建物が一体となった 沿道景観形成

<mark>黄色網掛け箇所</mark>が第 4・5 回地区別懇談会の参加者の主な意見です。(※決まった内容や事実確認をした内容、地権者様の了解を得た内容ではありません)

※九日町・紺屋町再生会議(7月21日開催)での検討内容 についても、主な意見ではありますが、併せて整理しています。

#### (中心市街地西側再生案に対する主な意見)

#### 賑わい・観光・交流拠点の形成に関わる意見

#### ●土地利用

- ・解体した空き地を集約して、公園の中にカフェがあ る富山市の環水公園のイメージにしてはどうか?若 い人が使いたいような公園ができると良い。例え ば、スケートボードや BMX などができるなど。
- ・モゾカタウンのようなものを空き地に。店を持てるよ うに支援、家賃が安く入れるようなテナントを用意で きるとよい。

#### 住まいの再建

- ・まちなかに自宅を再建したいが、まちづくりの方針が 分からないと再建できない。再建が決まらないと生業 のことも考えられない。
- ・ここで再建したいと決まっている人は僅かで、まだ決 められない人が多い。土地を手放しても良いという人 もいるかもしれない。
- ・このままでは再建が難しいが、まとまるのは(共同化 は) 難しいだろう。

#### 新温泉の在り方

- ・新温泉を中心にした賑わうまち(例えば、全体を嵩上 げ、1 階を駐車場、2 階を飲食店・庭、新温泉は水害 を伝える遺構として残す、新温泉を登録文化財に、新 温泉をジャッキアップ)。
- ・新温泉はどうなるか? 曳家をして道を拡げるのも一案 ではないか。

#### ●山田川沿い

- ・山田川が下流ほど狭いため、浸水リスクがあることを 前提とした整備(非住居、商業など)を検討。
- ・山田川の両岸を京都の鴨川の納涼床のようにお酒を楽 しめる空間にしてはどうか。
- ・山田川沿いの道路は歩行者専用の道路にできないか。
- ・ヤナ場があると良いのでは(昔はあった/山田川)。
- ・川沿いに屋台やキッチンカーが出せると良い。
- ・川沿いなどを飲みながら歩けると良い。

#### 交流・文化・まちなか居住拠点の形成に関わる意見

- ・温泉を買い上げて地元の人が入れるような温泉センタ ーにしてはどうか。 観光客が入るにもマナーを守って もらうことが必要。
- ・人を呼ぶには駐車場はどうするか? まちなかに点在し ている駐車場を集約したり、立体駐車場にするなどが 考えられる。立体駐車場は避難場所にもなる。
- ・温泉を活かした健康的な施設をつくる(鶯温泉など)。
- ・市民が集う複合施設(次のような機能を有する施設/図 書館、学童保育、喫茶店、ほっとステーション九ちゃ んクラブ、日本文化の体験(着付け、茶道)、市民用の 習い事教室、市民会館(イベント会場)、市民と観光客 が利用でき、楽しめる場、民間による運営、カルチャ ーパレスほどの規模は必要ない)。
- ・図書館、偉人記念館等を検討。

(候補案1)「動」の東九日町、「静」の西九日町との位 置づけとし、空地が多い鶯温泉の周辺等

(候補案2)地盤が高く空地がある鍛冶屋町通りと大工 町通りの交差点北東部等

#### 中心市街地西側再生案

復興未来の杜エリア タス・ス・ス・エー・ファイン 古代中世の杜(青井神社周辺) 中世近世の杜(城址公園周辺) 復興未来の杜(城世公園の辺) 3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を 促し環境共生型都市として未来型復興を図る

# 賑わい・観光・交流拠点の形成



ひかりの復興計画によ 復興型商店街の再生 る夜間景観イメージ

1階にJ・Uターン、被災商店主向け店舗、2・3階に 新温泉 (歷史的建

交流・文化・まちなか居住拠点の形成

雨水浸透緑地帯の導入 一醇造蔵 雨水が時間をかけ排水 され豪雨時の被害軽減 焼酎意大工町通り 紺屋町通り

中心市街地の新たな拠点となる まちなかのポケット 緑豊かな図書館等のイメージ パークのイメージ

歴史的な町並みの形成



癒やし・實ぎ・宿泊拠点の形成

制として管理すれば

公場主での 軟管路の

個人商店(肉屋、魚屋、駄菓子屋、喫茶店 など)が出店したくなる環境づくり

・川沿いに休憩できる、遊べる場所を ・親水や様々なものに"触れる"場所を ・車の乗り入れを制限する。ただし隣

接家庭には「通行許可書」を発行する







石垣等自然素材の検討

ラス型のオープンカ

生業・生活支援拠点の形成

温泉巡り、魅力的な商店などの 湯上がり散第

## 歴史的な町並みの形成に関わる意見

- ・昔の街並みを残す。
- ・十軒町通り(じっけんまち)は老舗が建ち並ぶ。電線地中化検討。

中心市街地は、人吉市の中心地として、賑わい・活力を形成するため くらしの再生や避難対策とともに「人吉らしさ」「各町の特性」を活かした

まちづくりの方針や具体の整備手法を中心に検討を進めています。

・鍛冶屋町通りは歴史的な街並み形成を図る。

#### 生業・生活支援拠点の形成に関わる意見

- ・コンテナマルシェは青空レストランができるような投資を検討して いきたい。コインランドリーにおしゃれな喫茶店がついたようなもの ができれば日常的に人の流れができるのでは。
- ・コンテナマルシェは青空イートイン、通常の民間事業へ若者がスター トアップできる場所へ。
- ・中心部に生活を組み込む動きをつくる。(例 小さい子供用の遊具が ある、中高生の部活動の場がある、一般の人の趣味やお花の稽古等の 場がある等)。
- ・コート 93 の裏側の活用を検討。(緑地で事業、子供が走り回れる場 づくり、部活動の受け皿を、昔の中央市場という物語性がある)。
- ・石蔵は住んでいる人がより使える活用方法を検討(例 キャンドルナ イト、絵を描いている人が見える、吹奏楽、音楽イベント)+観光。
- ・まちづくり会社を準備していきたい。

#### 球磨川プロムナード軸の形成に関わる意見

- ・遊歩道整備+遊歩道沿いに球磨川に向いた入口のある店舗を検討。 ・自然に近いつくりにする (緑、自然素材、石垣等)。
- ・川沿いに桜の植樹、並木を作ってはどうか。
- ・昔は球磨川でカワセミ、山田川でヤマセミを見ることができた。紺屋 町周辺では両方見れた。そのような環境に戻したい。
- ・高い建物で花火が見えなくならないようにしたい。昔は花火を中川原 や舟からも見たりしていた。
- ・川に入る(舟)イベント、集客、宿泊施設とも連携したい。

#### 紺屋町通り・大工町通りに関わる意見

夜のにぎわいの中心。

地場商材を使用した災害公常

#### 九日町通り(国道 445 号)に関わる意見

- ・市道にしては。・歩道を広く歩けるようにしてはどうか。
- ・片側通行にする。・車の速度制限をする。
- ・観光回遊性を高める。・自転車道、植樹帯の検討。

敷地内を通り抜けること

ができる分棟型文化交流

- ・道路拡幅は必要ない。
- ・そぞろ歩きができる商店街としてはどうか。
- ・1階(商店街)、2階、3階 居住地(UIJ、外国人向け)。
- ・旅館から西側はそぞろ歩きしやすいように車道を狭く歩道 を広くする。
- ・代官山ヒルサイドテラス、蔦屋を中心とした空間のイメー ジ。小さな店が多い方が歩いて楽しい。
- ・着物を着て、散策、ひかりの復興計画と連動。
- ・九日町通りに wi-fi を通している。

#### 癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成に関わる意見

- ・青井阿蘇神社、願成寺をつなぐプロムナードを活かす地区 としてはどうか。
- 札の辻駐車場敷地の活用を検討。

(活用案1)ランドマーク複合商業センター(スーパー等(1 階)、観光ビジターセンター、偉人館、映画館、ホテル、シ ェアオフィス、/例 唐津市カラエ)。

(活用案2) 駐車場がないので、九日町通り沿いなどに立体 駐車場+レンタサイクルの貸し出し。

## (中心市街地東側再生案に対する主な意見)



けるというより、散歩 ができる河川沿いに 店舗を誘致しては。

サイクリングロードは自

転車専用道路にはなって

いないので危険では。

四季を通して素晴らしいロケーション。 ・東校区は公共施設がない。城見庭園は、東校区

の憩いの場である。町会で花を植えるなど市民 で活用したい。

ミ二図書館などがあると良い。 3~4年前にお祭りも実施した。

備(人吉高校との役割を明確化)

あきない。

・旧中津留美術館を活かした喫茶店などは景観が 青井阿蘇神社から発船 場までは商業地として、 発船場より東側は住宅 地としての整備が必要。



戸建て中心の低密な「生活の場」 /三 としての環境整備

川までの距離は変わらない ため、被災前のカヌーの艇庫 を再建するべき。



川下り、ラフティング、カ

ヌーを始めとしたリバーフ クティビティの拠点化

規模な区画整理等を検

【住宅地としての上新町・下新町の在り方】 ・若い世代が住めるように、住宅の近くに子ど もを預けられる場を。 夜でも安心して働くこ

ターンの方が住める住宅 (店舗併用)

U | ) ターショフル につ 高齢者が楽しめるまちづくり ⇒高齢者がくれば若者も仕事を求めて定住する

ある。泉源活用などに向けて協 力依頼はできるのではないか。

「HASSENBA」に泉源があり

所有者は球磨川くだり(株)で

助望を楽しみ回遊を促す足湯を配置

観光複合施設『HASSENBA』

1 4

・チャレンジショップのように、人吉に帰ってきた時に足がかりになる場

・若い人が商売できるような場所があり、3年間は家賃を低廉化して支援

所があると良い。人吉にもう一度と思える場所が必要。

・オーナーにとっては、テナント貸しして収入があれば良い。

してもらえるしくみの検討。

## 中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台) 【方針・取り組み(1/4)】

資料4

#### 地区の主な課題 取組み方針 具体の取組み(案) 取組みの柱 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題) (課題解決のための取組み方針の柱) ※実現化に向け、今後検討が必要 □住まいの再建と安全性の向上 □安全性を高める建て方の誘導(例) ①被災者のくらし再建と □安全な住まいの確保 ・被害が大きい地区では、今後起こり得る災害に備え ・治水対策や復興まちづくりの状況を踏まえ、安全な場 ・建物1階のピロティ化、想定浸水深以上の居室の確保。 コミュニティの再生 た再建場所や再建方法の検討が必要。 所での再建や、安全性の向上を図る修復・再建方策等 建物構造の耐水化。 【住まい再建】 個別の嵩上げは難しい。 の選択肢を検討。 ・宅地の盛土・嵩上げ。 ・今後の住まいが決まっていない方や再建を迷う方への再建方策の提案。 ・宅盤沈下や路床が陥没した箇所がある。 ・民地に適用できる地盤調査や改良などに関する支援制 【コミュニティ再生】 ・再建後に区画整理の対象場所になった場合の対策の提示。 ・残っている建物の耐震性が心配。地震のことも考え 度の活用。 る必要があるのでは。 ・区画整理で面的な嵩上げ(小規模な区画整理などを検 ・借地権のことも考えてほしい。従前の人が手放さな くて済むようにしてほしい。 ・中心市街地の方々が移り住めるような災害公営住宅整 ・ここで再建したいと決まっている人は僅かで、まだ 備を上新町・下新町に整備を検討。 □町内会の集会所等の再建 決められない人が多い。土地を手放しても良いとい ・下新町の公民館を解体し、コミュニティ・避難施設として整備し、他の う人もいるかもしれない。 町会の方も利用できるような形に。 ・再建したいが高齢という課題もある。 □地域コミュニティの再生 □町内会の連絡網の再整理 □コミュニティの拠点の再生 ・集会所等が被災した町内会では、再建が必要。 ・町内会の寄り合い等、地域コミュニティを支える活動 ・被災や仮設暮らしの影響でどこに住んでいるか分か を行うための拠点の再建・修復等を行い、町内会を中 らない方もいる。 心としたコミュニティの再生を図る。 ・顔の見える関係の中で、住民が中心になり復興まち づくりを考えていく必要がある。 ②力強い地域経済の再生 □生業の再建と中心市街地の再生 □個々の事業所の再建支援 □中心市街地の再生に向けた環境づくり ・資金面、まちの状況等により再建を悩んでいる方が ・ "帰ってきたい"まちなかの環境をつくる。 ・店舗の再建支援策の充実。 【生業再建】 いる。 ・新たにまちなかに呼び込める魅力的な環境をつくる。 ・再建後のビジョンを描くための中心市街地のまちづくりの方針共有。 ・コロナ禍以前からまちなかの地価が下落している。 ・ここで商売・事業ができないと戻れない、人がいない ・すでに店をオープンしている方達を盛り上げるような支援を。 ・市民みんなで応援「旅館は地産地消」で。 ・高齢者(免許返納者)など交通弱者の生活(買物、医療 所では商売にならない→お客が来たくなるまちづくり。 など)を支援する施設等の立地が必要。 ・個人商店が出店したくなるような環境づくり。 ・観光業従事者向けの寮を兼ねた集合住宅。 (定住人口の増加、渡船場との連携など) ・まちなかに自宅を再建したいが、まちづくりの方針 □継続的な賑わい創出の取組 が分からないと再建できない。再建が決まらないと ・嵩上げして、1F店舗での営業がいい。商店街をそぞろ ・コンテナマルシェ、石蔵活用等による賑わいの創出。 生業のことも考えられない。 歩きできるように。 ・球磨川プロムナード軸を活用した回遊、賑わいの創出。 ・帰ってきてやっていこうという時に、ここが人吉の ・昔の雰囲気があるがセンスが良い、おしゃれ。個人の 小さな商店を集める。日常生活が溶け込んだ街並み。 ・古く趣のある建物や緑地を結ぶ散策路を整備。 中心地になる。 すきますきまにお店を埋める横町。外部の人も異業種 ・人吉ひかりの復興計画などとも連携した夜の散策ルートの整備。 ・イベント時のにぎわいだけでなく、平常時の賑わい ・モゾカタウンのようなものを空き地に。店を持てるように支援、家賃が が重要。持続可能なにぎわいがあり、日頃から人が の人も溶け込める。 安く入れるようなテナントを用意することを検討。 <mark>いないと商売は成り立たない。</mark> 暮らしのベースをつくり、住宅をつくり、夜間人口も ・コンテナマルシェは青空レストランができる投資と生活を組み込む。コ いて、何度も来たくなるような、ハードソフトでお金 ・平日に人がいないと、商売は成り立たない。昔は結 インランドリーにおしゃれな喫茶店がついたようなものができれば日常 構人がいた。人が住む、商業のまち。 <mark>がまわるまちが必要。</mark> 的に人の流れができるのでは。 ・まちなかに店舗がポツポツ点在すると、人の行き来が ・十軒町はあきないのまち。商業ベースでも成り立つ ・中心部に生活を組み込む動きをつくる。 まち。イスミを拠点にした商いのまち。 途切れない。 ・集約して職人のまちを検討。 (例 小さい子供用の遊具がある、中高生の部活動の場がある、一般の人 ・まちなかで何でもそろう。そこで生活できると良い。 ・紺屋町商店街は、1歩外に出れば何でもそろうまち の趣味やお花の稽古等の場がある等)

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

だった。そこでお話ができるコミュニティがあった。

どのように商店ができる場所をつくるか。

## 中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台) 【方針・取り組み(2/4)】

#### 地区の主な課題 取組み方針 具体の取組み(案) 取組みの柱 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題) (課題解決のための取組み方針の柱) ※実現化に向け、今後検討が必要 ③災害に負けないまち □避難のタイミングの判断 □「安全な避難」のための「平常時の準備」 □地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成 ・想定外の災害を体験し、災害の危険性の再確認や、 ・「情報の得方」「避難場所」「避難方法」を状況別に ・各世帯と町内会の動きを時系列に整理し、防災行動計画を立てる。 づくり いつ・どんな避難行動をとるか再検討する必要があ 検討しておき、避難できる方法がある時間帯の「早め 【選杖難報】 □地区内の主要道路・避難路の整備 の避難」を徹底する。 ・安全で円滑な避難を可能とする避難路の整備、避難経路の多重化。 ・油断による避難の遅れを防ぐため、災害の危険性を認 □安全な避難ルートの確保 識するための手段を整える(事前・発災時)。 □防災情報の伝達機能の強化 ・地区内には狭あいな道路や通り抜けができない区間、 □安全な避難路の整備 ・各世帯への戸別受信機の配布(市より、6月から順次配布)。 入り組んだ道路等がある。 ・双方向の情報伝達ツールの確保。 ・令和2年7月豪雨の際は、避難所周辺の道路が冠水 ・浸水しやすい箇所を踏まえた避難路の整備を行う。 ・人吉高校までは避難しないため、避難路整備は必要な ・車での避難による渋滞も考慮しておく必要がある。 □自助共助の避難体制の構築 ・安全な避難としては、徒歩避難一択。 ・車両避難のため人吉高校までの避難ルートの確保。 □来街者・観光客の避難誘導対策 □町単位の避難体制の構築 ・店舗経営者への情報周知、戸別受信機の店舗への配備、エリアメールの ・まちなかは高齢者が多く、避難の徹底には隣近所の □地域性を踏まえた避難体制の構築 活用、夜も浸水深(実績)が見えるように標示する等。 声掛けや要支援者の避難支援等が必要。 ・要支援者の避難支援体制を、地域ぐるみで構築する。 ・夜の営業が多い地区の避難対策や、観光客・来街者 ・夜の営業時間中も含めた来街者・観光客等の避難誘導 □実践的な避難訓練の実施 への対応も検討しておく必要がある。 等の対応策の検討を行う。 ・実際に起こり得る状況を想定した、効果的な避難訓練の実施。 ・九日町から避難所へは遠い。代わりになる施設(避難 (例) 夜間や雨天の実施、避難方法やルートの確認。 所を兼ねた)をつくることを検討。 (寝泊まりも可能な場所) □緊急時に避難ができる場所の確保 □複数の避難場所の確保 □垂直避難ができる避難場所の確保 ・指定緊急避難場所まで行けない場合や緊急に避難を ・指定緊急避難場所の他、民間の施設や私有地も含め、 ・高層階のある事業所ビル、ホテル、マンション等への協力依頼、災害時 の利用に関する協定の締結、避難ビル指定等。 要する場合などに、命を守れる避難場所が必要。 水害時の一時避難が可能な避難場所を複数確保する。 ・避難場所への移動手段を考慮し、車での避難方法につ ・収用可能スペースと対象町内の割り振り、施設の閉館時、鍵の問題等の いても整理する。 検討。 □車の避難場所の確保 ・立体駐車場の整備の推進。 ・車が浸水すると、水が引いた後の活動に支障が出る ・避難ビル候補の追加。 ため、車も避難させる場所または車で避難できる場 □車での避難場所(駐車スペース)の確保 所が必要。 (案) 車で避難する場合は人吉高校へ避難する。 ※要支援者の同行避難の車は除く。 □避難所機能の充実 □避難所機能の充実 □避難所機能の充実 ・人吉東小学校は体育館がピロティのため、バリアフ ・避難後の不安を軽減するため、避難所の機能、環境、 ・バリアフリー化、情報伝達機能、備蓄の充実。 リー化が必要。令和2年7月豪雨の際は、運営面で 運営体制等を整える。 ・食事や感染症対策など運営面の充実。 ・避難所の検討は必須。携行品などを考慮すべき。どれ ・東小学校の体育館までスロープで昇れるようにするなどバリアフリー対 も課題があった。 ・避難スペースに限りがあり、感染症対策も必要。 くらい私物を持ってくるかで収容人数等にも影響する。 策が必要。 □防災・避難支援スペースの確保 ・まちなかに、避難スペースや備蓄等の防災機能を備えた「防災・避難支 援スペース」を確保する。

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

# 中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台) 【方針・取り組み(3/4)】

#### 地区の主な課題 取組み方針 具体の取組み(案) 取組みの柱 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題) (課題解決のための取組み方針の柱) ※実現化に向け、今後検討が必要 【復興まちづくり】 □地域性を活かした復興まちづくり □中心市街地の一体的なまちづくりの方針整理 □中心市街地のグランドデザインの作成 ・(まちのコンセプト) ・"暮らしやすいまち""歩いて楽しいまち"等のまちづく ・人吉らしさ、まちの独自性をもっと盛り込む。 人よし、川よし、人情よし、ひとよし 酒よし 温泉よし りの方向性や、土地利用のゾーニングを検討し、まち ・人吉の売り①自然の良さが宝②人を中心とした偉人 「あすこは人のよかでなァと、言われるまち」 の将来ビジョンを打ち出す。 のまち③歴史・文化の宝④鉄道等産業遺産 ・住民・事業者等、まちの関係者共有のビジョンを作成し、多様な主体 ・人間の本性に根付いた自然発生的なもの。戦火で焼け ・"○○町らしさ"など地域性を大切にし、現在あるもの の活躍により復興まちづくりを進める。 ていない700年の歴史を持つまち、道がわからないの を活用しながら復興まちづくりを進める。 ・50年計画で「川と森のまち」として計画を作る。 も利点。人工的なまちでは人が集まらないのではない ・九日町、紺屋町、一体となって取り組むべき。 ・住民、商売人・事業者、観光客など多様な主体それぞれにとって良い ・商業地や住宅地としての再生の方針が必要。 ・空洞化を防ぐため、空き地を活かした面的な整備手法 ・横のつながり、女性部・青年部など人付き合いがあ ・まとまった緑地の整備。空き地利用で整備可能では。これからは、商 を検討する。 業と人と緑の調和で潤いのある場所に。まちなかに芝生を植える。 る。温かみのある町。 ・回遊性の創出、拡大により賑わいが生まれることで店 木々よりも草木レベルのものを。 ・人口は減ってきているので、ある程度コンパクトな 舗も増え、住民にとっても買い物しやすいまちになる。 ・青井の杜に加えて、市街地に未来の森をつくることを視野に入れては。 方が良いのでは。 ・昔ながらの商店街を復活させたい。 ・模型や立体的なCGなど、住民がイメージしやすい表現が必要。 ・災害前の状況も踏まえて検討する必要がある。水害 ・駐車場をまちなかの外郭に分散して設置(歩いてもら ・人吉駅からのまち歩きを検討。 前からにぎわいがなかった面もある。観光客の推移 う工夫、回遊性を上げる)。 ・桜の杜 リゾートシティ人吉。1000本の桜を植樹。「テーマ 自然と やまちの状況を再確認し、元々の課題も踏まえて検 の調和 共生」。癒し/安らぎ/贅沢な非日常空間/健康/文化/歴史 討しては。 □公営住宅の整備 □公営住宅の確保・まちなか居住 □まちへの人口回復 ・地権者が土地を提供するかわりに災害公営住宅へ入居できるようにし ・町ごとに、地域の人口増、活性化のため空き地などを ・ファミリーが住める住宅をまちなかに確保。(災害 たり、住宅の共同化を検討。 活用して確保。あるいは、既存の建物(アパートやマ 公営住宅等) それに合わせ、図書館や子育て施設等 ンション等)をおしゃれにリノベーションし、行政が 併設し、まちなかに人が来るようにすべき。 借り上げ、若い人、アート志向の人等に賃貸しおもし 若い世代が来たくなる、住みたいと思えるまちにす ろい人をまちに呼び込む。 る、まちづくりの仕掛けが必要。 ・人は人がいるところに集まる。公営住宅をまちなかに ・安心して住めないと、子どものいる世帯は住まない つくり、商店にも近いと良い。 のでは。盛土などしてもらえると良い。 ・幼稚園、学校が近いので若者の居住希望者が多いので は。子育てしやすいまちなかとしまちなかで子育て世 代を支える。人吉のまちなかなら、商売や事業がしや すいと若い移住者が増える。 □複合的な交流施設の整備 □複合的な交流の場の確保 ・城下町のイメージを優先するなら、その雰囲気に合った図書館をつく ・図書館、避難所、ショッピングできる場があり、その まわりに公園があると良い。 ・ 今までの図書館では人が集まらない。 武雄図書館のようにスタバ + 図 ・ホルモンキングの場所に偉人館を作るなど、観光と水 書館など、写真映えするスポットを検討。 害に強いまちづくりを。 ・図書館、会議室、物販、飲食など複合的な施設を検討。 ・コインランドリーの間に本を読んだり、人が集まる拠 □温泉の活用方策 ・コンテナマルシェの上に図書館があり、温泉を引いて 足湯があり、夏は球磨川を利用した冷たい足湯がある ・温泉施設(センター)を第3セクターでつくる。 ・「新温泉」登録文化財に。 とよい。 □温泉文化を活かしたまちづくり ・あえて温泉センターがないことが人吉の良いところ。 □温泉文化の継承・復活 昔は銭湯が100軒あった。そんな温泉文化を復活、 ・新温泉は地元民、観光客ともに利用が多かった。建物も趣がある。 既存の温泉を活かす。 発信。 ・偉人館、食事処、カフェ、温泉カフェ(京都の例)など。 ・市民が気軽に立ち寄れる温泉施設をまちなかに建てる。 ・銭湯再生が事業として成り立つか検討が必要。 (イメージ:山鹿市さくら湯)。 ・計画とともに誰が管理するのかという方針も同時に検討が必要。

# 中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台) 【方針・取り組み(4/4)】

取組みの柱	地区の主な課題 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題)	取組み方針 (課題解決のための取組み方針の柱)	具体の取組み(案) ※実現化に向け、今後検討が必要			
【復興まちづくり】	<ul> <li>□景観まちづくりの必要性</li> <li>・景観条例で、何をして良くて何がだめなのかを明確に示す必要がある。</li> <li>・現代的なイメージか、江戸風なイメージか、どちらにするべきか。</li> <li>・人吉は城下町らしさを大事にしたまちであるが、観光客がその印象を感じづらい。城下町といえる場所はどこか。</li> <li>□球磨川をまちづくりに活かす</li> <li>・球磨川では堆積土砂の影響で船が通れるルートが少なくなった。</li> <li>・アユも取れなくなったと聞いていている。観光に影響が出てくるのでは。</li> <li>・中川原公園を撤去する/しないの議論があるが、歴史があり、旅館からの風景の要素の1つにもなってい</li> </ul>	<ul> <li>↓ 人が集い、過ごす風景の再生</li> <li>・まちの再生に合わせて、住民・来街者・観光客等がまちなかで過ごす風景の再生に取り組む。</li> <li>・青井阿蘇神社から発船場までの散歩道を整備してほしい。ホテルのお客さんが散歩できると良い。</li> <li>・駅から歩ける街をつくる。</li> <li>・まちづくりの発想を合わせ、復興後の街並みをつくる。</li> <li>□ 球磨川を活かしたまちづくり</li> <li>・ 球磨川があっての人吉の暮らし。球磨川を活かしたまちづくり。</li> </ul>	<ul> <li>歴史的建物や路地空間等を活かした街並み形成</li> <li>・まちなかの印象的な建物や空間を活かし、人吉らしい風情ある街並みづくりを進める。</li> <li>・鍛冶屋町の方で温泉や旅館の立地やそれを活かした雰囲気づくりができると良い。紺屋町、九日町とも連なって街並みをつくっていけると良い。</li> <li>・城下町として外観を統一(白、ベージュ、アースカラー等)。</li> <li>「球磨川を活かしたまちづくり</li> <li>・球磨川プロムナード軸延伸。</li> <li>・球磨川を生かした街づくり。川沿いに散歩道、石垣、ベンチなどの設置を検討。</li> <li>・城見庭園の眺めを活かして、発船場と連携方策を検討。</li> <li>・山田川沿いは解体されるところが多く新しく建てるところが連なるのなら、テラス席のような形で川を向いたつくりにできると良い。</li> <li>・自然に近いつくりにする(縁、自然素材、石垣等)。子供が泳げる川(安全性を確保するルールを地域でつくる。</li> </ul>			
	る。 □面的なまちづくりの必要性 ・被害が甚大な地区や敷地の間口や道路が狭い等、再建に課題がある地区は面的なまちづくりの検討も必要。 ・被災市街地の事業が早く決まれば案も出しやすい。 ・土地をどうするか、財源をどうするか。 ・実現可能性、実現に向けた予算の確保が不安(国、県の補助)。	□ <b>面的なまちづくり方策の検討方針</b> ・地権者の話し合いを同時進行しなといけない。 ・住んでいる方の意向をしっかり聞いて実現を図る。	<ul> <li>・堤防を利用してトラック市を開催。</li> <li>□区画整理等による面的なまちづくりの実施</li> <li>・道路・公園等の基盤や宅地を再整備する手法の検討。</li> <li>・共同住宅や来街者向けの立体駐車場(垂直避難可能)の整備検討。</li> <li>・各地区最低一つは公園を整備。今が整備をするチャンス。</li> <li>・区画整理の範囲の早期明示。</li> <li>・地権者の意向調査を最優先で行う必要がある。</li> </ul>			
	<ul> <li>□空き地の活用</li> <li>・空き地や空きテナント等を、使える人が使える形にしていく必要がある。</li> <li>・公費解体した跡に、植木やブロックが残っている。観光客も通るまちなかが藪くらにならないようにきれいにする必要がある。</li> <li>・解体後の空き地をどう活用するか?持ち主は早く売らないといけないと焦っているのでは。</li> </ul>	<ul> <li>□空き地の活用方策の検討</li> <li>・空き地に小さい旅館ができると、まちの雰囲気が変わる。今は、観光客に対し、インパクトに欠ける。</li> <li>・空き地の活用の1つに、コミュニティの場が必要。九日町は会館がないため、ビルの低層部に場所を確保できると良い。</li> <li>・空き地に芝生を敷くのが良い。</li> </ul>	<ul> <li>□空き地の活用</li> <li>・持ち主が自身では使わない土地等を空き地バンク等で管理できると良い。持ち主個人と不動産事業者間のやりとりだけでなく、中間に市が入りマネジメントする等の仕組みの検討。</li> <li>・出身著名人に依頼し「・・・の森」というふうにオーナー制として管理する仕組みを検討。</li> <li>・緑地化、芝生化をする。</li> </ul>			
【治水・土砂災害対策】	□ <b>治水対策</b> ・堆積土砂の撤去、河川掘削、堤防の強化など、球磨川本川の治水対策。 ・山田川など球磨川支流のバックウォーターへの対応。	□流域治水プロジェクトによる本川・支川の 水位の低下 ・河川掘削による対処しかない。居住方法での対策だけ では駄目。	□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・流域治水プロジェクト…川辺川ダム整備、市房ダム再開発、河道掘削、 遊水地整備等。 ・ダムの必要性についてしっかり検討。住民投票を検討。			

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

・ダムができれば、川の水も濁って、魅力がなくなる |・球磨川の支流についても考える必要がある。

のではないかと心配。

・泥水を清流に戻す必要がある。復興のキーワードは川・自然。

・まちづくりと治水は同時進行 随時情報提供を。

# 中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台) 【西側整備イメージ】

## 復興未来の杜エリア

古代中世の杜(青井神社周辺) 中世近世の杜(城址公園周辺) 復興未来の杜(紺屋町、九日町等周辺) 3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を 促し環境共生型都市として未来型復興を図る

#### 賑わい・観光・交流拠点の形成



川沿いの回遊を促す 足湯のイメージ





復興型商店街の再生



ひかりの復興計画による 夜間景観イメージ





歴史的建物の在り方の 1階にI・Uターン、被災商店 主向け店舗 2・3階に住居 やシェアハウス

## まちの玄関口としての景観形成



道路、建物が一体となった 沿道景観形成

雨水浸透緑地帯の導入

## 歴史的な町並みの形成



を活かした町並み形成



鍛冶屋町の通り

茶の蔵

醸造蔵

十軒町通りの歴史的建物 鍛冶屋町の町並み形成



ひかりの復興計画によ る夜間景観イメージ

桜の植樹を検討

1000本の桜を植樹し自



生業・生活支援拠点の形成





小さい子が安心 して遊べる環境



子育て世代支援+生活広場



石蔵の活用イメージ

# 雨水が時間をかけ排水 然と調和・共生した観 され豪雨時の被害軽減 賑わい・交流軸の形成 焼酎蔵 賑わい・交流軸の形成

## 球磨川プロムナード軸の形成



テラス型のオープンカ フェ等を検討



石垣等自然素材の検討

#### 交流・文化・まちなか居住拠点の形成



地場産材を使用した災害公営住宅



敷地内を通り抜けることが できる分棟型文化交流施設 のイメージ



中心市街地の新たな拠点となる 緑豊かな図書館等のイメージ



まちなかのポケット パークのイメージ

#### 癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成





球磨川沿いの老舗ホテル・旅館を中心とした 滞在型の癒やし・寛ぎ拠点を形成



温泉巡り、魅力的な商店などの湯上がり散策

# 中心市街地 復興まちづくり計画(たたき台)【東側整備イメージ】



が拠点に

## (参考)九日町・紺屋町再生会議 提案(たたき台)

(注)この紙面の内容は、第5回九日町・紺屋町再生会議(7月21日開催)において3グループ(A〜C)から 出された意見をまとめたもので、決定事項ではありません。 第6回九日町・紺屋町再生会議(9月10日開催)において意見交換等のために示された資料です。

## 第5回九日町・紺屋町再生会議での主な意見(抜粋)

#### グループA主な意見

- 市民が集う複合施設が必要 (図書館、喫茶店、九ちゃんクラブ、習い事教室等)
- ランドマーク複合商業センターが必要
- 新温泉周辺を中心として賑わうまちを形成
- ・飲食店街(飲み屋込)形成(新規出店者には場を提供)
- 古民家 石蔵等の維持 活用
- 昔の街前みを残す

## グループB主な意見

- まちのコンセプトが必要 (人よし 川よし 人情よし 、 桜の杜 等)
- ・町ごとの活性化のため公営住宅が必要
- まちなかで子育て世代を支えることが大切
- そぞろ歩きして楽しいセンスの良い商店街の形成
- 図書館、偉人記念館等が必要
- ・城下町として外観統一(十軒町通り、鍛冶屋町通り等)

## グループC主な意見

- 人が行き交い商いの成り立つまちにする (人が暮らし、商業がある、持続可能な賑わいがある)
- ・総合的な場所が必要(図書館、避難所、買い物等)
- 災害公営住宅が必要(人は人がいるところに集まる)
- ・避難ビルが必要(新たに建設又は既存建物を活用)
- ・球磨川、山田川沿いを活かしたまちづくりが必要
- まちなみの統一が必要(小京都をそのまま活かす)

## 九日町・紺屋町再生にむけた提案(たたき台)

## 1. コンセプト(例)

2. 目指すまちの姿(例)

安全に暮らせるまち

- 例) 人よし 川よし 人情よし、ひとよし 酒よし 温泉よし 『あすこは人のよかでなァと、言われる町』
- 例) 桜の杜 リゾートシティ人吉/1000本の桜を植樹

・災害時に避難が出来るまち(避難ビルの確保等)

・安全な住まいがあるまち(災害公営住宅の確保等)

・浸水リスクに対応したまち(1階は非住居用途等)

・帰ってきて生業を再開する際に中心となるまち

・人が暮らし持続可能な賑わいがあるまち

(平常時の賑わいと人が住む場所がある)

テーマ:自然との調和・共生

キーワード: 癒し/安らぎ/贅沢な非日常空間/健康/文化/歴史

## 3. 目指すまちの姿を実現するアイデア(例)

#### 飲食店街(飲み屋込)

古い町並み

を残す

桜が残っている

- ・ブロックを囲むように街灯・防犯カメラの設置※明るいことで 人が集まるようになる
- ・空き地を商店街組合で購入し、新規出店者に場を提供
- ・山田川沿いの道路は歩行者専用の道路にできないか
- ・山田川の両岸を京都の鴨川の納涼床のようにお酒を 楽しめる空間に
- ・川沿いに屋台やキッチンカーが出せると良い
- 川沿いなどを飲みながら歩けると良い

新温泉を中心に

した賑わうまち

狭く歩道を広くする。

·1階 商店街

▶ 図書館、偉人記 ▶

念館等の候補地

として検討

·2階、3階 居住地

(UIJターン、外国人向け)

- ・新温泉は水害を伝える遺構として残す

・旅館から西側はそぞろ歩きしやすいように車道を

・代官山ヒルサイドテラス、蔦屋を中心とした空間の

イメージ。小さな店が多い方が歩いて楽しい。

- 新温泉をジャッキアップ
- ・山田川が下流ほど狭いため、浸水リスクがあるこ とを前提とした整備(非住居、商業など)を検討。

#### エリア全体に関するアイデア

- ・災害公営住宅や民間住宅によるまちなか居住の誘導
- ・市民が気軽に立ち寄れる温泉施設をまちなかに建てる
- ・図書館、避難所、ショッピングできる場、お客が寄れる場があり、そ のまわりに公園があると良い
- ・駐車場をまちなかの外郭に分散して設置
- ・避難場所、駐車場を先に計画した方が良い
- ・道路との関係を考え、施設を計画した方が良い
- ・今ある旅館を垂直避難の場所として、食糧を備えておくと良い。避 難場所は既存の建物を使えば良い
- ・ 人吉駅からのまち歩きを検討

## 新温泉を中心にしたまち

- ・全体を嵩上げ、1階を駐車場、2階を飲食店・庭

#### ・コンテナマルシェは青空イートイン、 通常の民間事業へ

- ・若者がスタートアップできる場所へ
- ・マルシェの上に図書館があり、温泉 を引いて足湯があり、夏は球磨川を 利用した冷たい足湯があるとよい。

賑わいの通り

・市民が集う複合施設 夜の賑わいの中心

図書館、偉人記

念館等の候補地

として検討

歴史的な街並みが

ある鍛冶屋町通り

・古民家の維持(渕田酒

·ホルモンキングの場所に

偉人館を作るなど、観光

と水害に強いまちづくりを。

造等)。

民間住宅の

確保を検討

十軒町(じっけんまち)

の通りとして老舗が建

ち並ぶ

飲食店街

(次のような機能を有する施設/図書館、 学童保育、喫茶店、ほっとステーション九 ちゃんクラブ、日本文化の体験(着付け、 茶道)、市民用の習い事教室、市民会館 (イベント会場)、市民と観光客が利用で

·子どもが遊ぶところ

# き、楽しめる場、民間による運営)。

・着物を着て、散策

動する

・ひかりの復興計画と連

## 多様な世代・人が支え合うまち

人が行き交い商いの成り立つまち

ハードソフトでお金がまわるまち

- ・若い人が商い等のチャレンジができるまち
- ・子育て世代を地区全体で支えるまち
- ・外部の人も異業種の人も溶け込めるまち

## 様々な交流が生まれるまち

- ・向こう三軒両隣でお話ができるコミュニティがあるまち
- ・歴史・文化等の体験の場があるまち(図書館、偉人館等)
- ・川が交流の場となるまち(散策、飲食、川遊び等)

## 人吉らしい風景を大切にするまち

- ・自然と一体感のあるまち(盆地、川)
- ・小京都の街並みを大切にするまち(城下町、青井阿蘇神社等)
- ・温泉文化を大切にするまち(公衆浴場、浴衣でそぞろ歩き等)

## 石蔵はコンサート、絵、文 化、芸術教養を高める場

## 札の辻駐車場敷地活用を検討

(活用案1)ランドマーク複合商業 センター/例 唐津市カラエ)。 (活用案2)立体駐車場+レンタ サイクルの貸し出し。

#### ・遊歩道の整備

子供が走り回れる場づくり

部活動の受け皿をまちにつくる

昔の中央市場という場所の物

コート93の裏側

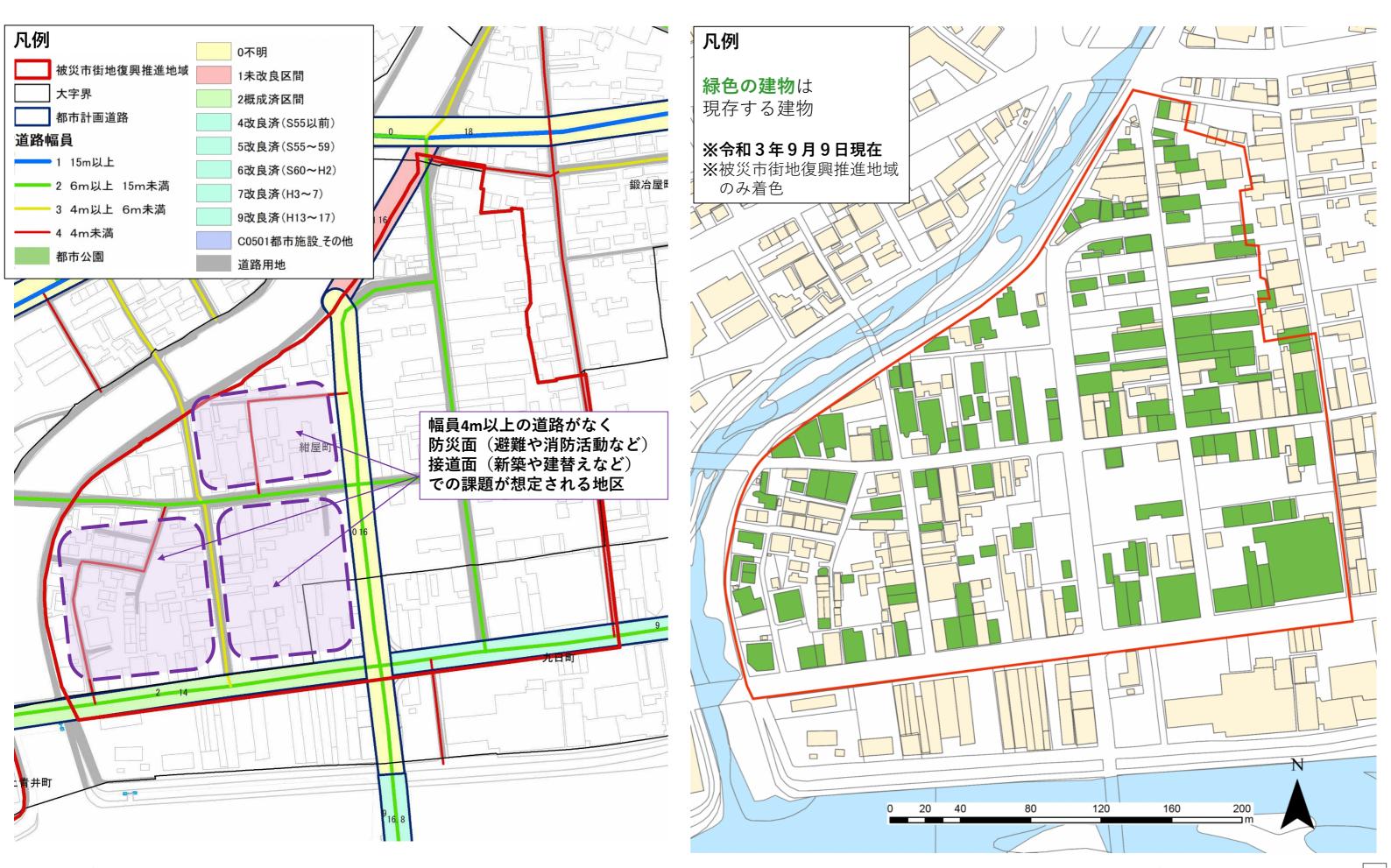
緑地で事業

語性もある

- ・遊歩道沿いに球磨川に向いた入口のある店舗
- ・川沿いに桜の植樹、並木を
- ・自然に近いつくりにする(緑、自然素材、石垣等)
- ・子供が泳げる川(安全性確保のルールを地域でつくる

# 被災市街地復興推進地域(中心市街地地区)土地利用及び道路整備方針(たたき台)

資料5



# 被災市街地復興推進地域(中心市街地地区)土地利用及び道路整備方針(たたき台)

